

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
国語	現代の国語	2	通年	6	2
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「新編現代の国語」		—		—	
指導目標					
1 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。					
2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容		到達目標		提出目標
1	こそそめスープ ルリボシカミキリの青		筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。		5月11日
2	未来をつくる想像力 水の東西		情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。		6月5日
3	スキマが育む都市の緑と生命のつながりハサミ —左利きだからこそ見えた世間—		身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。		7月5日
4	鍋洗いの日々 動きを引き出す言葉の力		自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。		9月14日
5	りんごのほっぺ 人生という旅の豊かな人間関係		出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。		9月14日
6	天動説はなぜ「正しかった」か？ 真の自立とは		タイトルや具体例に注意して、科学についての筆者の考えを読み取る。		10月19日
7	—		—		—
8	—		—		—
9	—		—		—
10	—		—		—
11	—		—		—
12	—		—		—

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	こそそめスープ 論理の展開を意識して内容を捉える	9	
2	真の自立とは 情報を関係付けて内容を捉える	10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
現代の国語は、必修履修科目である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
国語	言語文化	2	通年	6	2
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「新編言語文化」		－		－	
指導目標					
1 国語を適切に表現し、伝統的な国語の文化に触れながら的確に理解する能力を育成し、伝うあう力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばすことができるようにする。					
2 心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	心の自由 とんかつ	「旅」と「物語」の共通性について理解し、どのようなときに「心の自由」を感じるのか考える。		5月11日	
2	柳あをめる【短歌】、雪の深さを【俳句】、冬が来た	短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。		6月5日	
3	羅生門 夢十夜	極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。		7月5日	
4	児のそら寝 枕草子 うつくしきもの	歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。		9月14日	
5	伊勢物語 芥川 奥のほそ道 平泉	歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。		9月14日	
6	訓読の基本 論語一八章	漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。		10月19日	
7	－	－		－	
8	－	－		－	
9	－	－		－	
10	－	－		－	
11	－	－		－	
12	－	－		－	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	枕草子 うつくしきもの 歴史的仮名遣いについて理解する	9	
2	訓読の基本 論語一八章 訓読のきまりを理解する	10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
言語文化は、必修履修科目である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
国語	論理国語	4	通年	12	4
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「論理国語」		—		—	
指導目標					
論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	対話とは何か 世界をつくり替えるために	対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。		5月11日	
2	少女たちの「ひろしま」 「ふしぎ」ということ	戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。		5月11日	
3	学ぶことと人間の知恵 ラップトップ抱えた「石器人」	文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。		6月5日	
4	思考の肺活量 安心について	比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。		6月5日	
5	弱肉強食は自然の摂理か 複数の「わたし」	筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。		7月5日	
6	はじめに「言葉」がある 楽に働くこと、楽しく働くこと	筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。		7月5日	
7	最初のペンギン 豊かさと生物多様性	タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。		9月14日	
8	物語の外から カフェの開店準備	二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深める。		9月14日	
9	鏡としてのアンドロイド ロボットが隣人になるとき	アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。		9月14日	
10	言葉は「ものの名前」ではない 科学的「発見」とは	言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。		9月14日	
11	知識における作者性と構構性 もう一つの知性	インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深める。		10月19日	
12	ホンモノのおカネの作り方 未来のありか	二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。		11月14日	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	「ふしぎ」ということ 主張を支える根拠を捉える	9	
2	思考の肺活量 多面的・多角的に読む	10	
3	物語の外から 具体例を通して筆者の思考をたどる	11	
4	鏡としてのアンドロイド 新たな観点から自分の考えを深める	12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
論理国語は、選択科目である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
国語	文学国語	4	通年	12	4
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「文学国語」		－		－	
指導目標					
近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	光の窓 山月記	筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。		5月11日	
2	窓 詩と感情生活	場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。		5月11日	
3	山椒魚 沖縄の手記から	登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。		6月5日	
4	永訣の朝、硝子の駒－短歌抄、 モードの変遷	表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。		6月5日	
5	こころ	人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。		7月5日	
6	文学のふるさと 鞆	具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。		7月5日	
7	国語から旅立って 檸檬	筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。		9月14日	
8	コンビニの母、小諸なる古城のほとり、 金剛の露－俳句抄	登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。		9月14日	
9	空っぽの瓶 父と暮せば	人称を巡る筆者の体験や考えを読み取り、言葉と存在の関りについて考える。		9月14日	
10	舞姫	構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。		9月14日	
11	演技する「私」 映画の可能性のために	筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深める。		10月19日	
12	葉桜と魔笛 蠅	物語の展開を把握しつつ、そこに浮かび上がる人間の心の奥深さを味わう。		11月14日	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	山月記 主人公の内面と苦悩を理解する	9	
2	こころ 登場人物の関係性と心情を把握する	10	
3	国語から旅立って 言葉と自分との関係について考える	11	
4	舞姫 時代背景や主人公の生き方を考える	12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする。 ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
文学国語は、選択科目である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
国語	国語表現	4	通年	12	4
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「国語表現」		－		－	
指導目標					
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	話す・聞く／書く 表現とは何か	冒頭の文章や「表現の窓」の文章を読んで、「表現とは何か」について考える。		5月11日	
2	分かりやすく説明しよう	情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて、分かりやすく伝える方法を身につける。		5月11日	
3	身体で表現しよう	自分の身体が表現しているものについて考えを深める。		6月5日	
4	「問い」を考えよう	問う力・質問力が自他の表現および思考の質に大きく関わることを認識し、その種類や機能を学び、活用法を習得する。		6月5日	
5	「自分」を表現しよう	自己分析を行い、第三者の意見も踏まえて、客観的に「自分」を把握する。		7月5日	
6	論理的な文章を書こう、スキル アップ パラグラフ・ライティング	小論文を書くことを通して、与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と、論理的で説得力のある文章を書く力を身につける。		7月5日	
7	話し合う力をつけよう	合意形成を目的とする話し合いの展開パターンと、それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。		9月14日	
8	表現と読書活動	本を紹介し合う活動を通して、さまざまな本と出会い、読書の楽しみを知る。		9月14日	
9	情報活用力を身につけよう	正確な情報を見極め、その情報を目的に合わせて効果的な表現で発信する。		9月14日	
10	説得力のある提案をしよう	提案内容を受け入れてもらうために、効果的で印象的なプレゼンテーションの仕方や、相手の心を動かすのに必要な身体表現（発声・身振り）や態度などについて学び、説得力のある表現について理解する。		9月14日	
11	表現を楽しもう	筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深める。		10月19日	
12	心をつかむ表現	日常生活上のことも含めた「表現」活動を振り返り、今後の「表現」をだいにする気持ちを養う。		11月14日	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	分かりやすく説明しよう 言葉選びや情報の整理などを学ぶ	9	
2	論理的な文章を書こう 根拠を明確にし、小論文を書く	10	
3	説得力のある提案をしよう プレゼンテーションの方法を学ぶ	11	
4	情報活用力を身につけよう 広報資料の目的を理解する	12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・添削指導（レポート） 30％ ・面接指導（スクーリング） 30％ ・単位認定試験（テスト） 30％ ・平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
国語表現は、選択科目である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
地歴	地理総合	2	通年	6	2
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「地理総合」		－		－	
指導目標					
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	地球の運動や位置、地図の種類・特徴、日本の領域について理解し、時差や排他的経済水域の重要性を考える。		5月11日	
2	第2編 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境、1節 生活文化の多様性と国際理解節 2節 生活文化と自然環境①地形	交通・通信技術の発達や人々・モノ・情報の国際的な移動を通して、世界の結び付きや産業・文化・生活の変化について理解する。		6月5日	
3	3節 生活文化と自然環境②気候 4節 生活文化と社会環境①産業	世界各地の気候・植生・土壌の特徴を理解し、それらが人々の衣食住や農業、文化に与える影響を考える。		7月5日	
4	5節 生活文化と社会環境②宗教・民族 第2章 1節 地球環境問題、2節 資源・エネルギー問題、3節 人口問題	世界の宗教の分布や生活文化との関わりを理解するとともに、人口増加や少子高齢化が社会に与える影響について考える。		9月14日	
5	4節 食料問題、5節 居住・都市問題 6節 民族問題・紛争と平和の構築 7節 持続可能な社会の実現をめざして	食料問題や食の安全、発展途上国・先進国における都市化の特徴と、それに伴う格差や都市問題について理解する。		9月14日	
6	第3編 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境の特色 2節 さまざまな自然災害と防災	日本列島の地形・気候の特徴と、地震・火山・気象災害などが発生する仕組みや地域ごとの危険性について理解する。		10月19日	
7	－	－			
8	－	－			
9	－	－			
10	－	－			
11	－	－			
12	－	－			

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	地図や地理情報システムの役割 日本の領域についての理解を深める。	9	
2	さまざまな自然災害と防災 日本の気象災害について学ぶ。	10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
地理総合は、必修履修科目である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
地歴	地理探究	3	通年	9	3
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「地理探究」		—		—	
指導目標					
1 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付ける。					
2 上記をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 1節 世界の地形 2節 気候と自然環境 3節 気候と人々の生活	世界の地形・気候の形成過程と分布の特徴を理解し、自然環境と人々の生活・文化との関わりを捉える。	5月11日		
2	4節 日本の自然環境と自然災害 5節 世界の環境問題	日本の地形・気候と自然災害の関係を理解し、自助・共助・公助の観点から防災・減災の重要性を考える。	5月11日		
3	第2章 1節 産業の発展と社会的分業 2節 農業水産業 3節 食料問題	産業構造の変化と農林水産業の立地・発展・流通の特徴を理解し、グローバル化に伴う生産地域や地域社会の変容を捉える。	6月5日		
4	4節 エネルギーと鉱産資源、5節 資源・エネルギー問題、6節 工業の立地と工業地域の変容、7節 第三次産業	資源・エネルギーの生産・消費・貿易と工業立地の特徴を理解し、環境問題や国際情勢を踏まえた持続可能な利用について考える。	6月5日		
5	第3章 1節 交通・通信 2節 貿易と経済連携 3節 観光	交通・情報通信の発達がグローバル化を促した過程を理解し、その利点や環境・社会上的課題について考える。	7月5日		
6	第4章 1節 人口、2節 人口問題 3節 村落・都市 4節 居住・都市問題	世界の人口分布・人口動態・人口移動の特徴を理解し、先進国・発展途上国が抱える人口問題とその解決策について考える。	7月5日		
7	第5章 1節 生活文化の地域性、2節 民族・言語・宗教、3節 民族問題 4節 現代の国家と領土問題	世界各地の文化・食・衣服・住居・民族・宗教の形成と変容を理解し、地域ごとの文化的多様性について考える。	9月14日		
8	第2章 1節 東アジア、2節 東南アジア 3節 南アジア、4節 西アジアと中央アジア 5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ	地域区分や地誌的な考察方法を学び、東南アジア・南アジア・西アジア・中央アジア・アフリカの自然、文化、産業の特色を理解する。	9月14日		
9	6節 ヨーロッパ、7節 ロシア、8節 アン グロアメリカ、9節 ラテンアメリカ 10節 オセアニア	ヨーロッパ・ロシア・南北アメリカ・オセアニア・極地域について自然環境、民族・文化、産業、地域統合の特徴と歴史的背景を理解する。	10月19日		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	世界の地形 世界の地形の特徴を理解する。	9	
2	人口、人口問題 人口問題の解決策について考える。	10	
3	現代社会の諸地域 世界の各地域の特徴を押さえる。	11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
地理探究は、選択科目である。地理総合を履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
地歴	歴史総合	2	通年	6	2
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「歴史総合」		－		－	
指導目標					
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 1節 近代化への問い 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成 第2章 近代化と私たち	18世紀のアジア地域の経済と欧米諸国との関係を理解し市民革命や産業革命、国民国家の形成による世界市場と近代社会の成立を考察する。	5月11日		
2	3節 世界の一体化と多様な近代化 4節 近代化と現代的な諸課題	産業革命や立憲制、帝国主義の広がりを背景に、欧米諸国とアジア・アフリカ諸地域の関係や社会の変容を理解する。	6月5日		
3	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦と戦後の国際協調体制、社会主義や民主主義、反植民地主義の広がりを理解し、国際秩序の変化を多面的に考察する。	7月5日		
4	3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	世界恐慌から第二次世界大戦、戦後の国際秩序と冷戦の形成までの過程を理解し、各国の政治・社会や人々の生活への影響を考察する。	9月14日		
5	第3章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	冷戦下の国際政治・世界経済の変容と、脱植民地化、地域紛争、第三勢力や地域連携の動きを多面的・多角的に理解する。	9月14日		
6	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	市場経済のグローバル化と冷戦終結後の国際政治・社会の変容を理解し、日本の役割や各地域が抱える課題について多面的に考察する。	10月19日		
7	－	－			
8	－	－			
9	－	－			
10	－	－			
11	－	－			
12	－	－			

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	近代化への問い 産業革命以降の世界の様子を学ぶ。	9	
2	グローバル化と私たち 冷戦終結後の国際社会の変容を学ぶ。	10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
歴史総合は、必修履修科目である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
地歴	日本史探究	3	通年	9	3
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「日本史探究」		—		—	
指導目標					
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1編 第1章 先史社会の生活と文化、第2章 歴史資料と先史・古代の展望、第3章 古代社会の形成と展開	旧石器・縄文・弥生時代から飛鳥時代を経て律令国家が形成されるまでを、東アジアとの交流や文化・社会の変化と関連付けて理解する。	5月11日		
2	2節 摂関政治と貴族文化	奈良時代から平安時代にかけての政治・社会・文化の変化を、律令体制や摂関政治、対外交流との関係から理解する。	5月11日		
3	第2編 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開	院政期から鎌倉幕府の成立・展開までを、東アジアやユーラシアとの交流、土地支配、社会・文化の変化と関連付けて理解する。	6月5日		
4	2節 武家支配の広がりや国際交流	鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立、戦国大名の成長までを、東アジアとの交流や社会・経済・都市の発達と関連付けて理解する。	6月5日		
5	第3編 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開	織豊政権による全国統一から幕藩体制の確立までの過程を、海外交流や政策、社会・文化の変化と関連付けて理解する。	7月5日		
6	1節 幕藩体制の確立 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	江戸幕府の対外政策や政治の転換、産業・経済・文化の発展を通して、幕藩体制の確立から動揺までの近世社会の変容を理解する。	7月5日		
7	第4編 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展開	幕末の開国から明治期の制度改革、立憲政治、資本主義の成立までを、世界情勢や東アジアとの関係を踏まえて理解する。	9月14日		
8	2節 国民国家と資本主義の成立 3節 両大戦間期の日本 4節 第二次世界大戦と日本	明治後期から両大戦間期、第二次世界大戦に至る日本の政治・経済・外交・教育・文化の変化と、国民生活への影響を理解する。	9月14日		
9	5節 占領と改革、6節 国際社会への復帰と高度経済成長、7節 アジア情勢の変化と経済大国日本、8節 新しい国際秩序と日本の課題	戦後の占領・改革から国際社会への復帰、高度経済成長、21世紀までの日本の政治・経済・対外関係と国民生活の変容を理解する。	10月19日		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	古代社会の形成と展開 古代の社会形成、変化を理解する。	9	
2	武家支配の広がり と 国際交流 鎌倉以降の武士政権の特徴を学ぶ。	10	
3	国際社会への復帰と高度経済成長 戦後復興の過程と中身を理解する。	11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
日本史探究は、選択科目である。歴史総合を履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
地歴	世界史探究	3	通年	9	3
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「世界史探究」		—		—	
指導目標					
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，多面的・多角的に考察できる力を育てる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺	人類の拡散と古代文明・国家・宗教の成立を、自然環境や地域間交流との関係から理解し、各地域の共通点と相違点を考察する。	5月11日		
2	第3章 南アジア、第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア 第6章 アフリカ，オセアニア，古アメリカ	南アジア・東南アジア・東アジア・中央ユーラシアにおける国家や宗教・文化の形成を、交易や地域間交流との関係から理解する。	5月11日		
3	第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章 中世ヨーロッパ	イスラーム文明圏と中世ヨーロッパの政治・経済・社会・文化の発展を、宗教・交易・都市・国家体制の変化と関連付けて理解する。	6月5日		
4	第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア、第11章 大交易時代と世界の一体化	東アジアの変動やモンゴル帝国の形成・拡大、イスラームの広がりを通して、ユーラシア各地域の社会・文化の変容を理解する。	6月5日		
5	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	16～18世紀のアジア諸帝国とヨーロッパ主権国家の形成・発展を、宗教、交易、統治制度、植民地建設との関係から理解する。	7月5日		
6	第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成 第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容	産業革命や市民革命、国民国家・自由貿易の広がりを理解し、人・物・情報の移動によって世界の諸地域が結び付きを強めた過程を捉える。	7月5日		
7	第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行、第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	欧米列強の帝国主義的進出と、それに対するアジア・アフリカ諸地域の改革や民族運動、移民による社会の変化を理解する。	9月14日		
8	第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	世界恐慌による政治・経済体制の変化と国際協調の崩壊、ファシズムの台頭から第二次世界大戦に至る過程を理解する。	9月14日		
9	第4編 第20章 冷戦の世界化と国際制度 第21章 冷戦・終結と経済のグローバル化、 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	冷戦下から冷戦終結後に至る国際秩序と世界経済の変容を理解し、平和の模索、多極化、独立諸国の課題、グローバル化の進展を考察する。	10月19日		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	西アジアと地中海周辺 古代国家の成立と特徴を理解する。	9	
2	大交易時代と世界の一体化 大交易時代による社会の変容を学ぶ。	10	
3	第二次世界大戦 第二次世界大戦に至る過程を学ぶ。	11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
世界史探究は、選択科目である。歴史総合を履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
公民	公共	2	通年	6	2
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「公共」		－		－	
指導目標					
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念とともに，諸資料から，倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 青年期を生きる私たち 第2章 他者とともに生きる人間としてのあり方、第3章 公共的な空間における倫理	青年期の自己形成やキャリア、社会参画の意義を理解し、自己の幸福と他者・社会との関わりについて考える。	5月11日		
2	第4章 公共的な空間における基本的原理 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち、第1章 民主政治と私たち	市場と国家による利害調整、民主主義・立憲主義・基本的人権・日本国憲法の意義を理解し、民意を反映する政治の在り方を考える。	6月5日		
3	第1章 民主政治と私たち 第2章 法の働きと私たち	選挙・政党・世論形成など民主政治の仕組みを理解し、政治参加やメディア、情報に基づく判断の重要性について考察する。	7月5日		
4	第3章 経済社会で生きる私たち	市場経済・企業・金融・財政・社会保障の仕組みと役割を理解し、最低賃金、景気、物価、財政問題などが生活に与える影響を考察する。	9月14日		
5	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち	AI時代の労働・雇用の変化や労働者の権利、働きやすい環境の実現について理解し、社会的課題の解決策を多面的・多角的に考察する。	9月14日		
6	第5章 国際社会のなかで生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	現代の紛争・難民問題と国際社会の対応、日本の国際貢献について理解し、平和の実現に向けた方策を多面的・多角的に考察する。	10月19日		
7	－	－			
8	－	－			
9	－	－			
10	－	－			
11	－	－			
12	－	－			

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	公共的な空間における倫理 思考実験から、倫理について考える。	9	
2	私たちの職業生活 労働者の権利について考える。	10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
公共は、必修科目である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
公民	倫理	2	通年	6	2
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「倫理」		－		－	
指導目標					
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けさせる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 1節 人間とは何か、2節 人間の心の働き、第2章 1節 哲学すること、2節 ギリシャの思想	人間の心の働きや青年期の発達・個性について理解し、「考えること」や自己形成、他者とよりよく生きることの意義を考察する。	5月11日		
2	2節 宗教と社会、4節 キリスト教、5節 イスラーム、6節 仏教、7節 中国の思想、8節 芸術	キリスト教・イスラーム・仏教・儒教・道家などの成立と思想を学び、宗教や哲学が人間の生き方や社会・文化に与えた影響を理解する。	6月5日		
3	第2章 1節 近代と人間尊重の精神、2節 近代思想の展開、2節 人格の尊厳と人倫の思想、4節 社会変革の思想	ルネサンス・宗教改革から社会契約説、カント、功利主義、社会主義などの思想を学び、近代の人間観・社会観の形成を理解する。	7月5日		
4	5節 理性への疑念 6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり	近現代の思想家の考えを手がかりに、自由・正義・真理・存在・他者・公共性などをめぐる人間観や世界観の変容を理解する。	9月14日		
5	第4章 1節 日本人の精神風土、2節 仏教と日本人の思想形成、2節 儒教と日本人の思想形成、4節 国学の思想 他	日本人の自然観・宗教観・倫理観と、仏教・儒教・国学・西洋思想などの受容と変容を理解し、日本の思想や文化の特色を捉える。	9月14日		
6	第2編 1節 生命、2節 自然、2節 科学技術、4節 福祉、5節 文化と宗教、6節 戦争と平和	生命・自然・科学技術・文化・宗教などをめぐる現代的な課題について、人間や社会との関わりから多面的・多角的に考察する。	10月19日		
7	－	－			
8	－	－			
9	－	－			
10	－	－			
11	－	－			
12	－	－			

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	ギリシャの思想 ギリシア哲学者の思想を学ぶ。	9	
2	人間観の問い直し、他者とのかかわり 自由とは何か考える。	10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
倫理は、選択科目である。公共を履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
公民	政治経済	2	通年	6	2
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「政治・経済」		—		—	
指導目標					
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原理 2節 日本国憲法の基本原理	政治・法・民主主義・基本的人権の成立と発展、日本国憲法の特徴を理解し、権力分立や法の支配が果たす役割について考える。	5月11日		
2	3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	国会・内閣・司法・地方自治・政党・選挙など、日本の政治制度の仕組みと課題を理解し、その改善策について考える。	6月5日		
3	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	経済活動の基本原理や市場・企業・金融・財政の仕組みを理解し、景気・物価・金融政策が家計や国民生活に与える影響を考察する。	7月5日		
4	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	戦後から現代までの日本経済・産業構造の変化を理解し、農林水産業、中小企業、労働、消費者問題、情報化などの課題を考察する。	9月14日		
5	第2編 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ 2節 複雑化する国際政治と日本	少子高齢化、地域活性化、労働、中小企業、財政、農業、防災など、日本社会が抱える課題を理解し、その解決策を多面的に考察する。	9月14日		
6	第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題	国際貿易・為替・地域経済統合・国際金融の仕組みと世界経済の変化を理解し、格差や資源・エネルギー、国際協調の課題を考察する。	10月19日		
7	—	—			
8	—	—			
9	—	—			
10	—	—			
11	—	—			
12	—	—			

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	日本国憲法の基本原理 憲法の三大原理についての理解する。	9	
2	現代の国際経済 円高・円安の特徴を押さえる。	10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
政治経済は、選択科目である。公共を履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
数学	数学Ⅰ	3	通年	9	3
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「新数学Ⅰ」		—		—	
指導目標					
数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 数と式 第1節 文字と式	文字式や多項式の基本的な用語・計算方法、指数法則や分配法則を理解し、多項式を正しく整理・展開できる力を身に付ける。	5月11日		
2	第2節 実数	平方根や根号を含む式の計算、分母の有理化を理解し、正確に計算できる力を身に付ける。	5月11日		
3	第3節 方程式と不等式	1次方程式・1次不等式の意味や性質を理解し、正しく解くとともに、身近な文章題の解決に活用する力を身に付ける。	6月5日		
4	第2章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	関数の概念と1次関数・2次関数の特徴を理解し、変化の様子をグラフに表して捉える力を身に付ける。	6月5日		
5	第2節 2次関数の値の変化	2次関数のグラフを利用して最大値・最小値を求め、身近な問題の解決に活用する力を身に付ける。	7月5日		
6	第3章 三角比 第1節 鋭角の三角比	相似な三角形や三平方の定理、サイン・コサイン・タンジェントの意味を理解し、直角三角形の辺の長さや三角比を求める力を身に付ける。	7月5日		
7	第2節 三角比の応用	三角比を0° から180° までの角に拡張し、鈍角を含む三角比の値や相互関係、三角形の面積を求める力を身に付ける。	9月14日		
8	第4章 データの分析 第1節 データの分析	データを度数分布表・ヒストグラム・箱ひげ図や代表値、分散・標準偏差を用いて整理・分析する力を身に付ける。	9月14日		
9	第5章 集合と論証 第1節 集合と論証	集合の基本的な用語・記号や集合どうしの関係を理解し、図や記号を用いて適切に表す力を身に付ける。	10月19日		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	数と式、集合と論証 条件に着目し、計算する	9	
2	二次関数 式、グラフを関連付けて考察する	10	
3	三角比、データの分析 性質や計量を論理的に考察する	11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
数学Ⅰは、必修履修科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
数学	数学Ⅱ	4	通年	12	4
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「新数学Ⅱ」		—		—	
指導目標					
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 方程式・式と証明 第1節 式の計算	3次の乗法公式・因数分解の公式や二項定理を理解し、それらを用いて式を正確に展開・因数分解する力を身に付ける。	5月11日		
2	第2節 2次方程式	虚数単位と複素数の意味や演算、共役な複素数について理解し、数の範囲を実数から複素数へ広げて考える力を身に付ける。	5月11日		
3	第3節 高次方程式 第4節 式と証明	多項式の除法や剰余の定理・因数定理を理解し、因数分解を用いて高次方程式を解き、身近な問題に活用する力を身に付ける。	6月5日		
4	第2章 図形と方程式 第1節 座標と直線の方程式	数直線・座標平面上の2点間の距離や内分点・外分点、三角形の重心の座標を求める力を身に付ける。	6月5日		
5	第2節 円の方程式 第3節 軌跡と領域	円の方程式と中心・半径の関係を理解し、円と直線の共有点やその個数を方程式・判別式を用いて求める力を身に付ける。	7月5日		
6	第3章 三角関数 第1節 三角関数	角の概念を一般角まで拡張し、三角関数の定義や相互関係を理解して、その値を求める力を身に付ける。	7月5日		
7	第2節 加法定理	三角関数の加法定理を理解し、三角関数の値の計算や2倍角の公式の導出・活用、三角関数の合成ができる力を身に付ける。	9月14日		
8	第4章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	指数の範囲を整数や分数へ拡張した指数法則と累乗根の意味を理解し、それらを用いて正確に計算する力を身に付ける。	9月14日		
9	第2節 対数関数	対数の意味と性質を理解し、基本的な対数の値や式を正確に計算する力を身に付ける。	9月14日		
10	第5章 微分と積分 第1節 微分係数と導関数	平均変化率・極限值・微分係数・導関数の意味を理解し、定義や公式を用いて正確に求める力を身に付ける。	9月14日		
11	第2節 導関数の応用	導関数の符号から関数の増減を調べ、極大値・極小値を求めてグラフの概形をかく力を身に付ける。	10月19日		
12	第3節 積分	不定積分・定積分の意味や基本公式を理解し、関数の積分を正確に求める力を身に付ける。	11月14日		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	方程式、式と証明 式の範囲や性質に着目し、計算する	9	
2	図形と方程式 座標上の図形を式で表し、考察する	10	
3	三角関数、指数・対数関数 定義と性質を理解し、値を求める	11	
4	微分積分 グラフの概形をかき、面積を求める	12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30% ・ 面接指導（スクーリング） 30% ・ 単位認定試験（テスト） 30% ・ 平常点 10% 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
数学Ⅱは、選択科目である。数学Ⅰを履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
数学	数学Ⅲ	3	通年	9	3
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「数学Ⅲ Standard」		—		—	
指導目標					
1 極限・微分法・積分法の内容や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化して適切に表現・処理する技能を身に付ける。					
2 また、数列や関数の変化を多面的に考察し、数学的論拠に基づいて粘り強く問題を解決するとともに、その過程を振り返って評価・改善する力と態度を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 関数と極限 第1節 関数	分数関数・無理関数の定義域やグラフの特徴を理解し、式の変形を用いてそれらのグラフをかく力を身に付ける。	5月11日		
2	第2節 数列の極限	数列の収束・発散や極限の基本的な性質、無限等比数列の収束条件を理解し、数列の極限を求める力を身に付ける。	5月11日		
3	第3節 関数の極限	指数関数・対数関数・三角関数などの極限の性質を理解し、さまざまな関数の極限値を求める力を身に付ける。	6月5日		
4	第2章 微分 第1節 微分法	導関数の定義と基本的な性質を理解し、積・商の微分法や整数指数のべき関数の公式を用いて導関数を求める力を身に付ける。	6月5日		
5	第2節 いろいろな関数の導関数	三角関数・対数関数・指数関数の導関数を理解し、合成関数の微分法や対数微分法を用いて導関数を求める力を身に付ける。	7月5日		
6	第3章 微分の応用 第1節 関数の増減	導関数を用いて曲線の接線・法線の方程式を求め、媒介変数で表された関数や曲線を微分する力を身に付ける。	7月5日		
7	第2節 微分のいろいろな応用	微分法を用いて関数の増減を調べ、最大値・最小値を求める力を身に付ける。	9月14日		
8	第4章 積分とその応用 第1節 不定積分	不定積分の基本的な性質や公式、置換積分法・部分積分法を理解し、基本的な関数の不定積分を求める力を身に付ける。	9月14日		
9	第2節 定積分	置換積分法・部分積分法や偶関数・奇関数の性質を理解し、さまざまな関数の定積分の値を求める力を身に付ける。	10月19日		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	関数と極限 様々な関数の概形や極限を理解する	9	
2	微分、微分の応用 導関数を学び、グラフの概形をかく	10	
3	積分とその応用 様々な関数の積分を計算する	11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・添削指導（レポート） 30％ ・面接指導（スクーリング） 30％ ・単位認定試験（テスト） 30％ ・平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
数学Ⅲは、選択科目である。数学Ⅱを履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
数学	数学A	2	通年	6	2
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「新数学A」		—		—	
指導目標					
図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	集合の基本的な用語・記号や要素の個数の求め方を理解し、図や記号を用いて集合の関係を適切に表す力を身に付ける。	5月11日		
2	第2節 確率	試行・事象と確率の意味を理解し、場合の数や加法定理、余事象を用いて基本的な確率を求める力を身に付ける。	6月5日		
3	第2章 図形の性質 第1節 平面図形の基礎 第2節 三角形の性質	平行線と角、多角形の内角・外角、三角形の合同・相似の性質を理解し、辺の長さや角の大きさを求める力を身に付ける。	7月5日		
4	第3節 円の性質 第4節 空間図形	円の接線・円周角・内接四角形・接弦定理・方べきの定理を理解し、角度や線分の長さを求める力を身に付ける。	9月14日		
5	第3章 数学と人間の活動 第1節 数や位置を表す	古代の記数法や漢数字、10進法・2進法の仕組みを理解し、相互の変換や2進法による計算ができる力を身に付ける。	9月14日		
6	第2節 数のつくり方を調べる 第3節 はかる 第4節 数学で遊ぶ	整数の約数・倍数・素数・素因数分解を理解し、最大公約数・最小公倍数を素因数分解やユークリッド互除法を用いて求める。	10月19日		
7	—	—	—		
8	—	—	—		
9	—	—	—		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	場合の数と確率 事象に着目し、数学的に考察する	9	
2	図形の性質、数学と人間の活動 数の性質や図形の構造を考察する	10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
数学Aは、選択科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
数学	数学B	2	通年	6	2
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「数学B Standard」		—		—	
指導目標					
数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 数列 第1節 数列	数列の概念や基本用語を理解し、等差数列・等比数列の一般項を初項、公差・公比を用いて表す力を身に付ける。	5月11日		
2	第2節 いろいろな数列	記号Σの意味と性質を理解し、自然数の累乗の和などをΣを用いて表し、計算する力を身に付ける。	6月5日		
3	第3節 漸化式と数学的帰納法	数列の帰納的な定義を理解し、漸化式から数列の各項や一般項を求める力を身に付ける。	7月5日		
4	第2章 統計的な推測 第1節 標本調査 第2節 確率分布	標本調査の意義や抽出法、確率変数・確率分布の意味を理解し、期待値・分散・標準偏差を求める力を身に付ける。	9月14日		
5	第3節 正規分布	連続分布とその代表である正規分布の意味や性質を理解し、正規分布に従う確率変数の確率を求める力を身に付ける。	9月14日		
6	第4節 統計的な推測	母平均・母分散・母標準偏差や標本平均の分布を理解し標本平均から母平均を推定して母平均・母比率の信頼区間を求める。	10月19日		
7	—	—	—		
8	—	—	—		
9	—	—	—		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	数列 概念を理解し、文字を用いて表す	9	
2	統計的な推測 調査の方法や結果について考察する	10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
数学Bは、選択科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
数学	数学C	2	通年	6	2
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「数学C Standard」		—		—	
指導目標					
ベクトル・平面上の曲線・複素数平面の概念や原理を体系的に理解し、図形や社会の事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 また、図形の性質や離散的な変化、確率分布・標本分布に着目して事象を考察し、数学的論拠に基づいて問題を解決・評価・改善する力と態度を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトル 第2節 ベクトルの応用	平面ベクトルの意味や演算・平行・分解・成分表示・内積・位置ベクトルを理解し、ベクトルの大きさやなす角を求める力を身に付ける。	5月11日		
2	第3節 空間におけるベクトル	平面上のベクトルの考え方を空間に拡張し、空間ベクトルの定義・平行条件・分解・成分表示や基本的な演算を理解する力を身に付ける。	6月5日		
3	第2章 平面上の曲線 第1節 2次曲線	放物線・楕円・双曲線の定義や方程式、基本的な性質を軌跡の考え方から理解し、平行移動後の2次曲線の方程式を求める力を身に付ける。	7月5日		
4	第2節 媒介変数表示と極座標	曲線の媒介変数表示を理解し、媒介変数を消去して曲線の方程式を求めたり、サイクロイドなどを媒介変数で表したりする力を身に付ける。	9月14日		
5	第3章 複素数平面 第1節 複素数平面	複素数と複素数平面上の点との対応を理解し、複素数の実数倍・和・差を図形的に表す力を身に付ける。	9月14日		
6	第2節 図形への応用	ド・モアブルの定理を理解し、複素数の累乗方程式の解を求めて複素数平面上に図示する力を身に付ける。	10月19日		
7	—	—	—		
8	—	—	—		
9	—	—	—		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	ベクトル 演算法則や図形的な意味を理解する	9	
2	平面上の曲線、複素数平面 定義や性質を理解し、問題を解決する	10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
数学Cは、選択科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
理科	科学と人間生活	2	通年	6	8
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「科学と人間生活」		－		－	
指導目標					
1 自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割、身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解する。					
2 科学に対する興味・関心を高め、科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容		到達目標	提出目標	
1	1 編 生命の科学 1 章 微生物とその利用		身のまわりの微生物を観察し、細菌・アーキア・原生生物・菌類の特徴や、ウイルスが生物に含まれない理由について考察する。	5月11日	
2	1 編 生命の科学 2 章 ヒトの生命現象		感覚器が外界の刺激を受容して反応する仕組みや、眼の構造・遠近調節・視細胞・瞳孔の働きと視覚が生じる過程を理解する。	6月5日	
3	2 編 物質の科学 1 章 材料とその再利用 2 章 衣料と食品		プラスチックや繊維の種類・原料・構造などを理解し、モノマーとポリマー、付加重合・縮重合合、各種リサイクルとの関係を考察する。	7月5日	
4	3 編 光や熱の科学 1 章 光の性質とその利用 2 章 熱の性質とその利用		光の分散・スペクトル・回折・干渉や電磁波の種類と性質、物体の色と光の3原色・視覚との関係を理解する力を身に付ける。	9月14日	
5	4 編 宇宙や地球の科学 1 章 自然景観と自然災害		マグマの性質と火山の形・噴火様式との関係や、地球内部の熱によるプレート運動、地震の発生メカニズムと災害の特徴を理解する。	9月14日	
6	4 編 宇宙や地球の科学 2 章 太陽と地球		地球の自転・公転と月の満ち欠けと暦の関係を理解し、太陽の表面や黒点、活動変動、放射エネルギーについて考察する力を身に付ける。	10月19日	
7	－		－	－	
8	－		－	－	
9	－		－	－	
10	－		－	－	
11	－		－	－	
12	－		－	－	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	微生物のはたらきによる炭素の循環と、窒素の循環を理解する。身近な医薬品と微生物の関係を知る。	9	
2	目の構造を理解し、「見る」について神経伝達系を知る。DNAの転写と翻訳を理解し、免疫について知る。	10	
3	天然繊維と合成繊維を知る。ヒトの生命活動に必要な三大栄養素と五大栄養素を知る。	11	
4	金属の特性、光沢、展性・延性、電気伝導性を理解する。プラスチックの再利用方法を知る。	12	
5	光が粒子と波の性質を持つことを知る。目に見えない光(電磁波、X線や電波)の利用について知る。	13	
6	熱は必ず高い所から低い所へ移動することを知る。比熱を用いた熱量計算ができるようにする。	14	
7	地球の構造と歴史を知り、景観を構成する要因を知る。災害に備えた防災意識を身につけさせる。	15	
8	グレゴリオ暦と太陽の運動と地球の運動を理解する。近年の気象災害のメカニズムを知る。	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
科学と人間生活は、選択必修履修科目である。科学と人間生活と基礎を付した科目1科目または、基礎を付した科目3科目で必修履修条件を満たす			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
理科	物理基礎	2	通年	6	8
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「改訂 新編物理基礎」		—		—	
指導目標					
1 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。					
2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
3 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	1 章 直線運動の世界	物体の運動を表す位置・時間・速度・加速度などの情報を理解し、平均の速さと瞬間の速さ、観測者による運動の見え方の違いを捉える。		5月11日	
2	2 章 力と運動の法則	力の分解・合成、力のつり合い、慣性の法則、運動方程式、作用・反作用の法則を理解し、力と物体の運動との関係を捉える。		6月5日	
3	3 章 力学的エネルギー	仕事、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの関係を理解し、物体の質量・速さ・高さなどとエネルギーとの関わりを捉える		7月5日	
4	2 編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	温度の測定原理、熱と物質の状態変化、物質の種類や量による温まり方の違いについて理解する力を身に付ける。		9月14日	
5	2 章 波	波を表す振幅・波長・周期・振動数や、横波と縦波、重ね合わせ、干渉、定在波、反射などの性質について理解する力を身に付ける。		9月14日	
6	3 章 電気	静電気、電流・電圧・抵抗の関係、電力と電力量、電流がつくる磁場、電磁誘導、直流と交流、電磁波の性質について理解する。		10月19日	
7	—	—		—	
8	—	—		—	
9	—	—		—	
10	—	—		—	
11	—	—		—	
12	—	—		—	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	速度と加速度計算ができるようにする。鉛直・水平投射について理解させ公式化できるようにする。	9	
2	力について、ベクトル合成・分解ができるようにする。運動方程式を理解し活用できるようにする。 ニュートンの運動の3法則を理解させる。	10	
3	運動方程式を基本に摩擦や空気抵抗を理解する。力学的エネルギーを理解しその値を求められるようにする。	11	
4	熱は必ず高い所から低い所へと移動し熱平衡となることを知る。熱効率が100%の熱機関は存在しないことを知る。	12	
5	波の速さを求める公式から各要素の値を計算できるようにする。固有振動数の公式から値を求められるようにし、楽器などの共振現象を理解させる。	13	
6	静電気の性質を知り、オームの法則から各値を求められるようにする。回路を知り、合成抵抗が求められるようにする。	14	
7	電力量とジュールの法則式からエネルギー値を求められるようにする。電磁波について知り、日常生活における利用について知る。	15	
8	エネルギー保存の法則を知り、日常生活におけるエネルギーの循環を理解する。原子力発電の仕組みを理解する。	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
物理基礎は、選択必修履修科目である。物理基礎と科学と人間生活または、物理基礎とそれ以外の基礎を付した科目2科目で必修履修条件を満たす			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
理科	物理	4	通年	12	16
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「物理」		－		－	
指導目標					
1 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
3 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	1 編 さまざまな運動 1 章 平面内の運動 2 章 剛体のつり合い	曲線運動における速度と加速度のベクトル表現、物体の重心と力のモーメントによるつり合いについて理解する。	5月11日		
2	3 章 運動量 4 章 円運動	力積と運動量の関係、衝突における運動量保存と反発係数、円運動に必要な向心力について理解する力を身に付ける	5月11日		
3	5 章 単振動 6 章 万有引力	単振動の特徴と周期を決める要因、波のエネルギーを電気に変える仕組み、惑星の公転運動や万有引力について理解する。	6月5日		
4	7 章 気体分子の運動	気体の温度・体積・圧力の関係を、物質を全体として捉えるマクロな視点と粒子の運動として捉えるミクロな視点の両面から理解する。	6月5日		
5	2 編 波 1 章 波の伝わり方 2 章 音	波の振幅・波長・周期・振動数などを用いた表し方や、水面波の反射・屈折・回折・干渉、音の高さ・大きさ・音色などの性質を理解する。	7月5日		
6	3 章 光	物体が見える仕組みや光の反射・屈折、回折・干渉などの性質、レンズによる像の形成について理解する力を身に付ける。	7月5日		
7	3 編 電気と磁気 1 章 電場と電位	静電気の発生、クーロン力と万有引力の類似点・相違点、荷電粒子の加速、コンデンサーに電気エネルギーを蓄える仕組みを理解する。	9月14日		
8	2 章 電流	導線や送電線に用いられる素材の電気抵抗や強度などの性質と、抵抗器・コンデンサー・半導体などの回路素子の基本的な働きを理解する。	9月14日		
9	3 章 電流と磁場	万有引力・静電気力・磁力の類似点と相違点や、電流が磁場をつくる仕組み、地磁気の成因について理解する力を身に付ける。	9月14日		
10	4 章 電磁誘導と電磁波	電磁誘導による音声信号の変換やワイヤレス給電、交流電圧の実効値と最大値の関係、電磁波の発生と伝搬について理解する力を身に付ける	9月14日		
11	4 編 原子 1 章 電子と光	光電効果やX線の性質を通して、光が電磁波としての波動性と光子としての粒子性を併せもつことを理解する力を身に付ける。	10月19日		
12	2 章 原子と原子核	原子の発光、原子核の構造と同位体、放射性同位体の崩壊と年代測定、核分裂・核融合によるエネルギーについて理解する力を身に付ける。	11月14日		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	運動の3法則を理解する。運動方程式の意味を知り、力の計算ができるようにする。放射運動を三角関数を用いて表現できるようにする。	9	音の基本性質を知り、ドップラー効果について説明できるようにする。ドップラー効果の日常生活への応用も知る。
2	剛体のつり合う条件を明示できるようにする。剛体の重心の位置を知り日常生活と連動させる。	10	光が粒子と波の性質を有していることを知る。レンズを通る光の進み方を知り、日常生活と連動させる。
3	運動方程式を知り、運動量保存の法則を理解する。エネルギー保存の法則を知り量的計算ができるようにする。	11	電気量保存の法則、クーロンの法則を理解する。コンデンサーの静電エネルギーを求め、合成容量並列、直列を理解する。
4	等速円運動の速度や運動方程式を導けるようにする。遠心力の大きさを求める公式を導けるようにする。	12	オームの法則を理解し、活用できるようにする。コンデンサーを含む回路について理解し、値を求められるようにする。
5	単振動の公式を導き出せるようにする。単振動のエネルギーを求める公式を導き計算できるようにする。	13	磁場の向きや強さ(N/Wb)について知る。荷電粒子が受けるローレンツ力にの向きについて、オームの法則で説明できるようにする。
6	ケプラーの法則を理解する。万有引力の法則式から地球の重力を計算できるようにする。	14	電磁誘導の歴史と法則を知る。電磁波の発生メカニズムを理解し、日常生活での応用について知る。
7	ボイル・シャルルの法則から気体の状態方程式を導き出せるようにする。熱力学の第1、第2法則を説明できるようにする。	15	陰極線＝電子を知り、電気素量を求められるようにする。光がエネルギー $E=h\gamma$ と運動量 $p=h/\lambda$ をもつ粒子だと説明できるようにする。
8	波の基本用語を知り、正弦波の式を導き計算できるようにする。ホイヘンスの原理を理解し、説明できるようにする。	16	ボーア模型から水素原子のスペクトルに関する規則性を説明できるようにする。放射性原子の半減期を計算できるようにし、放射線の利用について知る。
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30% ・ 面接指導（スクーリング） 30% ・ 単位認定試験（テスト） 30% ・ 平常点 10% 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
物理は、選択科目である。物理基礎を履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
理科	化学基礎	2	通年	6	8
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「新編化学基礎」		—		—	
指導目標					
化学が物質を対象とする科学であることや、化学が人間生活に果たしている役割、原子の構造、電子配置と周期律の関係及び化学結合のしくみ、化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに、日常生活や社会と関連付けて、学習内容を深めるとともに、化学的に探究する能力を高める。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容		到達目標	提出目標	
1	1編 1章 1節 物質の成分 2節 物質の構成元素 3節 物質の三態		純物質と混合物、単体・化合物・同素体の違いを理解し、物質の性質を利用した分離や炎色反応等による元素の確認を行う。	5月11日	
2	2章 原子の構成と元素の周期表 1節 原子の構造 2節 電子配置と周期表		原子の大きさや構造、陽子・中性子・電子の性質を理解し、原子番号・質量数・同位体の関係や放射性同位体の利用を捉える。	6月5日	
3	3章 1節 イオンとイオン結合 2節 分子と共有結合 3節 金属と金属結合		電子配置とイオン化エネルギーの周期性、イオン結合・共有結合・金属結合の形成を理解する。	7月5日	
4	2編 1章 1節 原子量・分子量・式量 2節 物質質量、3節 溶液の濃度 4節 化学反応の表し方		原子の相対質量や同位体存在比による原子量、分子量・式量・物質質量・モル質量の関係を理解する。	9月14日	
5	2編 2章 1節 酸と塩基 2節 水素イオン濃度と pH、3節 中和反応と塩の生成、4節 中和滴定		酸・塩基の定義や価数・電離度・強弱、水素イオン濃度と pH、指示薬の変色域を理解し、水溶液の性質を判断する力を身に付ける。	9月14日	
6	2編 3章 酸化還元反応 1節 酸化と還元 2節 酸化剤と還元剤		酸化還元反応を電子の授受と酸化数の変化から統一的に理解し、代表的な酸化剤・還元剤を用いた化学反応式を扱う力を身に付ける。	10月19日	
7	—		—	—	
8	—		—	—	
9	—		—	—	
10	—		—	—	
11	—		—	—	
12	—		—	—	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	物質の分類を理解する。分離精製や現象について理解し、化学変化と物理変化の基本概念を身につける。	9	
2	原子の構造を理解するとともに基本となる原子番号20番までの元素記号を暗記して、以降の単元につなげる。	10	
3	貴ガスの電子配置を理解する。エネルギーの概念と変換を理解させ化学変化に結び付ける。	11	
4	原子量の基準となる炭素原子から相対質量の求め方を身につける。分子量、式量につなげるようにする。	12	
5	アボガドロ数の求め方とモル(mol)の概念を身につける。濃度計算まで公式化する。	13	
6	酸・塩基の定義をアレニウス理論、ブレンステッドローリーの理論で理解できるようにする。	14	
7	電離度(α)を理解し、中和滴定を公式化し、中和滴定の計算力も身につける。	15	
8	酸化数を理解し、イオン反応式(半反応式)から化学反応式を形成できるようにする。	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
化学基礎は、選択必修履修科目である。化学基礎と科学と人間生活または、化学基礎とそれ以外の基礎を付した科目2科目で必修履修条件を満たす			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
理科	化学	4	通年	12	16
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「化学 Vol.1 理論編、化学 Vol.2 物質編」		—		—	
指導目標					
1 化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。					
2 化学的な事物・現象を観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。					
3 日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	1 編 物質の状態 1 章 物質の状態 2 章 気体の性質	固体・液体・気体における粒子の状態と熱運動、状態変化と潜熱、融点・沸点と化学結合・分子間力との関係などについて理解する。	5月11日		
2	3 章 溶液の性質	物質の極性と溶解性、飽和溶液と溶解平衡、質量パーセント濃度・モル濃度・質量モル濃度、希薄溶液の蒸気圧降下などについて理解する。	5月11日		
3	4 章 固体の構造 2 編 化学反応とエネルギー 1 章 化学反応と熱・光	金属結晶・イオン結晶・分子結晶・共有結合の結晶の構造と性質、代表的な結晶格子の配列・配位数・充填率、などについて理解する。	6月5日		
4	2 章 電池と電気分解	電池における酸化還元反応と起電力の仕組み、各種一次・二次電池や燃料電池の構造と特徴、電気分解における電極反応について理解する。	6月5日		
5	3 編 化学反応の速さと平衡 1 章 化学反応の速さ	反応速度の表し方や反応速度式、濃度・温度・触媒・物質の状態などが反応速度に及ぼす影響、活性化エネルギーについて理解する。	7月5日		
6	2 章 化学平衡 3 章 水溶液中の化学平衡	可逆反応と化学平衡、平衡定数、ルシャトリエの原理、酸・塩基の電離平衡と電離定数、塩の加水分解、緩衝液と滴定曲線について理解する	7月5日		
7	4 編 無機物質 1 章 周期表と元素 2 章 非金属元素の単体と化合物 3 章 典型金属元素の単体と化合物	元素の分類と族ごとの性質、貴ガス・ハロゲン・アルカリ金属・アルカリ土類金属などの化合物の製法・性質・用途について理解する。	9月14日		
8	4 章 遷移元素の単体と化合物 5 章 金属イオンの分離と確認	遷移元素と典型元素の性質の違い、錯イオンの名称・化学式・形・配位数などや金属イオンに特有の沈殿反応・呈色反応について理解する。	9月14日		
9	5 編 有機化合物 1 章 有機化合物の特徴と構造 2 章 炭化水素	有機化合物の多様性と炭化水素・官能基による分類、アルカン・アルケンの一般式・名称・性質・異性体について理解する力を身に付ける。	9月14日		
10	3 章 アルコールと関連化合物	アルコール・アルデヒド・カルボン酸・エステル・油脂の構造と分類、酸化還元・脱水・エステル化・加水分解などの反応について理解する	9月14日		
11	4 章 芳香族化合物	ベンゼンと芳香族化合物の構造・異性体・置換反応、フェノール類・芳香族カルボン酸・ジアゾ化合物の性質と反応について理解する。	10月19日		
12	6 編 高分子化合物 1 章 高分子化合物とは何か 2 章 天然高分子化合物 3 章 合成高分子化合物	高分子化合物の分類・重合・平均分子量・結晶性、糖類・アミノ酸・タンパク質・酵素などの天然高分子について理解する。	11月14日		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	物質の三態や熱運動について理解し状態図の意味を知る。	9	電離平衡も化学平衡の法則に適用した式をたてられるようにする。溶解度積を理解し、沈殿生成を知る。
2	気体の法則について理解し状態方程式を求め、活用できるようにする。理想気体と実在気体の特徴を知る。	10	元素と単体の意味を理解する。特徴ある各元素群の性質を理解する。典型元素は族番号の一桁が価電子となることを知る。
3	溶液の性質を含め、濃度計算を%、モル、について求める公式を組み立て活用できるようにする。沸点上昇と凝固点降下について計算できるようにする。コロイド	11	遷移金属は横で性質が似ることを知る。また特徴ある金属の性質を理解し、金属イオンの分離につなげる。
4	結晶の種類、構造について知り、三平方の定理を用い原子半径を求められるようにする。	12	有機化合物の分類と分析計算ができるようにする。基本となるアルカン、アルケン、アルキンについて知る。
5	エンタルピーとエントロピーを知る。ヘスの法則を用いてエンタルピー計算ができるようにする。光化学反応を理解する。	13	アルコールとアルコールの酸化物について知る。エステルの応用である油脂とセッケンについて理解する。
6	電池の基本原理を理解し、身近な実用電池についても知る。電気分解を理解し、ファラデーの電気分解の法則で量的計算ができるようにする。	14	芳香族炭化水素の構造と特徴を知り、官能基との関連を理解し分離までつなげる。
7	反応速度について理解し、反応速度式がたてられるようにする。また、反応速度を変化させる要因を理解する。	15	高分子化合物について知り、天然高分子化合物の種類、性質、を理解しアミノ酸、タンパク質、酵素のはたらきについて知る。
8	化学平衡の意味を理解し、化学平衡の法則に基づいて式をたてられるようにする。ルシャトリエの原理に基づいて平行移動の原理を理解する。	16	合成高分子の歴史と内容を知り、合成法を理解する。樹脂の種類と性質を知る。身近なゴムの合成法と用途を知る。
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題		実施日
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する		各自確認
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
化学は、選択科目である。化学基礎を履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
理科	生物基礎	2	通年	6	8
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「新編生物基礎」		—		—	
指導目標					
1 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
2 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 第1節 生物の多様性 第2節 生物の共通性 第3節 細胞の特徴	生物の共通性やウイルスと生物の違いを考察し、原核細胞・真核細胞の基本構造と細胞小器官の形態・機能を理解する力を身に付ける。	5月11日		
2	2章 1節 生体とATP 2節 酵素のはたらき 3節 呼吸と光合成	同化・異化や呼吸・光合成との関係、ATPを利用した技術について考察する力を身に付ける。	6月5日		
3	2編 1章 1節 生物と遺伝子、2節 DNAの構造、2章 2節 DNAとタンパク質の合成	DNAが染色体やゲノムを構成すること、相同染色体やDNAの二重らせん構造・塩基の相補性を理解し、塩基の割合を求める力を身に付ける。	7月5日		
4	3編 1章 1節 体内環境、3節 ホルモンによる情報伝達、2章 1節 免疫のしくみ	体内環境と体液の関係、心臓・血管の構造や役割を理解し、恒常性を保つためのホルモン分泌とフィードバック調節の仕組みを学ぶ。	9月14日		
5	4編 1章 1節 植生とその環境 2節 植生の遷移 3節 遷移とバイオーム	環境要因と植物の環境形成作用、森林の階層構造・光環境・土壌との関係を理解し、植物の形態や生活様式を生育環境と関連付けて考察する	9月14日		
6	4編 2章 2節 生物間の関係 3節 生態系とかく乱 4節 生態系の保全	食物網・栄養段階・生態ピラミッドやキーストーン種の役割を理解し、生物間の関係と多様性が生態系のバランスを支える仕組みを学ぶ。	10月19日		
7	—	—	—		
8	—	—	—		
9	—	—	—		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	生物の多様性を知り、系統樹から共通の祖先から進化してきたものもあり、共通性もあることを知る。	9	
2	ATPとADPの関係を理解し、生物の呼吸と光合成におけるその循環を知る。	10	
3	DNA構造リン酸・デオキシリボース・塩基で構成されていることを理解する。DNA複製の仕組みを知る。	11	
4	タンパク質がDNAの遺伝情報をもとにして合成されることを理解する。遺伝子の発現について知る。	12	
5	ヒトの体は恒常性によって体内環境が維持されていることを理解する。神経系の情報伝達により、機関の機能を調節し、体内環境を維持していることを理解する。	13	
6	自然免疫やリンパ球などによる適応免疫が、病原体の排除にはたっていることを理解する。免疫が正常にはたらかないと、アレルギーなどを発症することを知り、	14	
7	植生は多様な環境をつくり、さまざまな生物の営みを支えていることを理解する。遷移が進んでも最終的には気候に応じたバイオームになることを知る。	15	
8	捕食、被食の関係が複雑につながり、多様性が維持されていることを理解する。復元力を超えるかく乱が起こると、もとの生態系に戻らないこともあることを知る。	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・添削指導（レポート） 30％ ・面接指導（スクーリング） 30％ ・単位認定試験（テスト） 30％ ・平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
生物基礎は、選択必修履修科目である。生物基礎と科学と人間生活または、生物基礎とそれ以外の基礎を付した科目2科目で必修履修条件を満たす			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
理科	生物	4	通年	12	16
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「生物」		－		－	
指導目標					
1 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。					
2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
3 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	1 編 生物の進化 1 章 生命の起源と細胞の進化	生命の起源と細胞の進化について理解し、関連する観察・実験を適切に行うための基本的な技能を身に付ける。	5月11日		
2	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ	遺伝子の変化と生物進化の仕組みについて理解し、関連する観察・実験を適切に行うための基本的な技能を身に付ける。	5月11日		
3	3章 生物の系統と進化	生物の系統と進化について理解し、関連する観察・実験を適切に行うための基本的な技能を身に付ける。	6月5日		
4	2 編 生命現象と物質 1章 細胞と物質	生命現象を支える細胞の構造と機能、分子の種類や働きについて理解し、関連する観察・実験を適切に行うための技能を身に付ける。	6月5日		
5	2章 代謝とエネルギー	生命現象を支える代謝の仕組みについて理解し、関連する観察・実験を適切に行うための基本的な技能を身に付ける。	7月5日		
6	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現	遺伝情報の構造と、その情報が転写・翻訳などを通して発現する仕組みについて理解する。	7月5日		
7	2章 発生と遺伝子発現	発生の過程と、それを制御する遺伝子発現の仕組みについて理解し、関連する観察・実験を適切に行うための基本的な技能を身に付ける。	9月14日		
8	3章 遺伝子を扱う技術	遺伝子を解析・増幅・組換え・編集する技術の仕組みと利用について理解し、関連する観察・実験を適切に行うための技能を身に付ける。	9月14日		
9	4 編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動	刺激の受容から反応に至る仕組みと、神経系の働きが動物の行動を生み出す仕組みについて理解する。	9月14日		
10	3章 植物の環境応答	植物の成長や環境変化への反応に植物ホルモンが関与する仕組みについて理解し、関連する観察・実験を適切に行うための技能を身に付ける。	9月14日		
11	5 編 生態と環境 1 章 個体群と生物群集	個体群や生物群集の構造と特徴、生物間の相互作用および生物と環境との関係について理解する。	10月19日		
12	2章 生態系の物質生産と物質循環	生態系における物質生産、エネルギーの移動・物質循環の仕組みについて理解し、関連する観察・実験を適切に行うための技能を身に付ける。	11月14日		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	生命の誕生において重要な有機物は核酸、タンパク質、脂質であることを理解する。シアノバクテリアが光合成をおこなうことによって酸素濃度が上昇し呼吸可能な環境になっていったことを理解する。	9	目的の遺伝子を増幅する方法には、PCR法やサンガー法という技術があることを知る。遺伝子や細胞を扱う技術は幅広く利用されているが、倫理的な問題や生態系への影響を議論する必要があることを知る。
2	遺伝的変異が生殖細胞の染色体やDNAに生じた突然変異によって起こることを理解する。生存や繁殖における有利性にかかわる対立遺伝子は、自然選択によって集団に固定されることがあることを知る。	10	動物では、中枢神経系からの指令は、ニューロンを介して筋肉や分泌腺に伝えられて反応することを知る。ニューロンの興奮の伝導を理解する。
3	生物は大きく3つのドメインに分けられ、さらに界や門を用いて階層的に分離されることを知る。人類の重要な進化は、直立二足歩行や脳容積の拡大であることを知る。	11	受容器(眼、耳、鼻、舌、皮膚)は刺激の種類ごとに決まった感覚細胞を持つことを知る。運動ニューロンが筋繊維の興奮を引き起こし、アクチンフィラメントとミオシンフィラメントの滑り運動によって筋収縮が起こることを理解する。
4	細胞は水、タンパク質、核酸、脂質、炭水化物、無機物などの成分によって構成されていることを理解する。酵素には、特定の基質のみにはたらきかける基質特異性がみられることを理解する。	12	動物は環境からの刺激に応じた行動を生み出していることを知る。学習による行動の変化は、刺激の需要と反応を結ぶ神経回路のシナプス伝達効率の変化や新たな神経回路の形成が生後の経験によって起こることで生じることを理解する。
5	代謝の反応には、物質のエネルギーが増大するものと減少するものがあることを知る。発酵では酸素を用いずに有機物が部分的に分解され、放出されるエネルギーを直接利用してATP合成が行われることを知る。	13	種子が吸水したときに適切な環境下であれば、ジベレリンの増加とアブシジン酸の減少が起こり、発芽が進行することを理解する。古くなった葉では老化が始まり、タンパク質などの成分が分解されて回収されることを知る。
6	DNAはデオキシリボースをもつ4種類のヌクレオチドがリン酸基を介して規則的につながった2本鎖でできていることを知る。DNAの2本鎖の片方の鎖を鋳型として、RNAポリメラーゼがプロモーターを認識して転写を開始することを知る。	14	生物種の多様性を保全するために、各種の生物の個体数に注目し、それらが時間とともにどのように変動していくかを把握することが大切であることを知る。
7	遺伝子発現の調節は、基本的には、RNAポリメラーゼのプロモーターへの結合が制御されることによって行われることを知る。動物の発生は、受精、卵割、原腸形成、器官形成の順に進行し、成体の体が形成されることを知る。	15	炭素や窒素は食物連鎖などを通して生態系内を循環していることを理解する。生産者が行う光合成により有機物中に蓄えられた化学エネルギーは、最終的に熱エネルギーとなって生態系外に出ていくことを知る。
8	卵の細胞質は、一般に均質ではなく様々な母性因子が卵の細胞質の中でそれぞれ異なった分布をしていることを知る。動物の体の形も遺伝情報で決められている。そこには多数の調節遺伝子が関わっていることを知る。	16	生態系の多様性の高さは、種の多様性の高さを支えていることを知る。地球温暖化は生態系を変化させ、窒素やリンの流入は水質の汚染を引き起こすことを理解する。
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題		実施日
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する		各自確認
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
生物は、選択科目である。生物基礎を履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
保健体育	体育Ⅰ	3	通年	3	15
教科書		副教材		メディア視聴	
大修館書店「現代高等保健体育」		—		—	
指導目標					
1 心身ともに健康で安全な生活を送り、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を養うことができる。					
2 運動や健康に関する自他や社会の課題を発見し、主体的に課題を解決できるような思考力・判断力・表現力を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容		到達目標	提出目標	
1	体育編 1単元 01 スポーツの始まりと変遷 02 文化としてのスポーツ Active Sports バスケットボール		スポーツの起源と世界的な普及の背景を理解し、運動との比較を通して文化としてのスポーツの特徴を説明する力を身に付ける。	5月11日	
2	体育編 1単元 03 オリンピックとパラリンピックの意義04 スポーツが経済に及ぼす効果 Active Sports バドミントン		オリンピズムとオリンピック・パラリンピックがもつ価値や社会的意義について、具体例を通して説明する力を身に付ける。	6月5日	
3	体育編 1単元 05 スポーツの高潔さとドーピング 06 スポーツと環境 Active Sports 卓球		フェアプレーを損なう行為や暴力、差別、ドーピングなど、スポーツの高潔さを脅かす要因と影響について具体的に説明する力を身に付ける	7月5日	
4	—		—	—	
5	—		—	—	
6	—		—	—	
7	—		—	—	
8	—		—	—	
9	—		—	—	
10	—		—	—	
11	—		—	—	
12	—		—	—	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	スポーツの始まりと変遷 なぜスポーツが広まったのかを学ぶ。	9	バスケットボール 基本的な技能を身に付ける。
2	オリンピックとパラリンピックの意義 それぞれの価値について理解する。	10	バスケットボール ゲームを通して、戦術を理解する。
3	スポーツの高潔さとドーピング 高潔さを脅かす要因を理解する。	11	卓球 ルールを学ぶ。
4	Active Sports バスケ、バド、卓球 ルールを学ぶ。	12	卓球 ラリーをつなぐための打ち方を学ぶ。
5	バドミントン ルールを学ぶ。	13	卓球 サービスからラリーへ繋ぐ。
6	バドミントン ショットの打ち方を理解する。	14	単元のまとめ 3つ競技それぞれの課題を見つける。
7	バドミントン フォーメーションを使う。	15	単元のまとめ 課題解決のための練習を実践する。
8	バスケットボール ルールを学ぶ。	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日に規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題		実施日
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する		各自確認
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
体育Ⅰは、必修履修科目である。			

令和 8 年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
保健体育	体育Ⅱ	2	通年	2	10
教科書		副教材		メディア視聴	
大修館書店「現代高等保健体育」		—		—	
指導目標					
1 心身ともに健康で安全な生活を送り、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を養うことができる。					
2 運動や健康に関する自他や社会の課題を発見し、主体的に課題を解決できるような思考力・判断力・表現力を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	01 スポーツにおける技能と体力 02 スポーツにおける技術と戦術 03 技能の上達課程と練習	技能と体力の関係、技能の型や習得段階、上達に伴って現れる動作の安定性や効率性について理解する。		5月11日	
2	05 体力トレーニング 06 運動やスポーツでの安全の確保 Active Sports 柔道	目的に応じたトレーニングの考え方を理解し、筋力・持久力・調整力・柔軟性を高めるための具体的な方法を説明する力を身に付ける。		6月5日	
3	—	—		—	
4	—	—		—	
5	—	—		—	
6	—	—		—	
7	—	—		—	
8	—	—		—	
9	—	—		—	
10	—	—		—	
11	—	—		—	
12	—	—		—	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	スポーツにおける技能と体力 技能と体力の関係を説明できる。	9	単元のまとめ 3つ競技それぞれの課題を見つける。
2	運動やスポーツでの安全の確保 発生要因と予防方法を学ぶ。	10	単元のまとめ 課題解決のための練習を実践する。
3	バドミントン ルール・ショットの打ち方を学ぶ。	11	
4	バドミントン 戦術を理解する。	12	
5	バスケットボール ルールや基本的な技能を身に付ける。	13	
6	バスケットボール ゲームを通して、戦術を理解する。	14	
7	卓球 ルールや打ち方を学ぶ。	15	
8	卓球 ラリーをつなげてチャンスを作る。	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日に規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・添削指導（レポート） 30％ ・面接指導（スクーリング） 30％ ・単位認定試験（テスト） 30％ ・平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
体育Ⅱは、必修履修科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
保健体育	体育Ⅲ	2	通年	2	10
教科書		副教材		メディア視聴	
大修館書店「現代高等保健体育」		—		—	
指導目標					
1 心身ともに健康で安全な生活を送り、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を養うことができる。					
2 運動や健康に関する自他や社会の課題を発見し、主体的に課題を解決できるような思考力・判断力・表現力を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	01 生涯スポーツの見方・考え方 02 ライフスタイルに応じたスポーツ Active Sports バレーボール	社会の変化に伴うスポーツの役割の変容と、年齢や生活状況などのライフステージに応じたスポーツの楽しみ方について理解する。		5月11日	
2	03 スポーツを推進する取り組み 04 豊かなスポーツライフの創造 Active Sports 陸上競技	国内や身近な地域で行われてきたスポーツ推進の取り組みについて理解し、具体例を挙げてその目的や役割を説明する力を身に付ける。		6月5日	
3	—	—		—	
4	—	—		—	
5	—	—		—	
6	—	—		—	
7	—	—		—	
8	—	—		—	
9	—	—		—	
10	—	—		—	
11	—	—		—	
12	—	—		—	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	生涯スポーツの見方・考え方 スポーツの役割の変化を学ぶ。	9	単元のまとめ 3つ競技それぞれの課題を見つける。
2	スポーツを推進する取り組み 取り組みについて理解する。	10	単元のまとめ 課題解決のための練習を実践する。
3	バドミントン ルール・ショットの打ち方を学ぶ。	11	
4	バドミントン 戦術を理解し、実践する。	12	
5	バスケットボール ルールや基本的な技能を身に付ける。	13	
6	バスケットボール 戦術を学び、試合で実践する。	14	
7	卓球 ルールや打ち方を学ぶ。	15	
8	卓球 ラリーを繋げて、相手と攻防する。	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日に規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題		実施日
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する		各自確認
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・添削指導（レポート） 30％ ・面接指導（スクーリング） 30％ ・単位認定試験（テスト） 30％ ・平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
体育Ⅲは、必修履修科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
保健体育	保健Ⅰ	1	通年	3	1
教科書		副教材		メディア視聴	
大修館書店「現代高等保健体育」		—		—	
指導目標					
1 心身ともに健康で安全な生活を送り、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を養うことができる。					
2 運動や健康に関する自他や社会の課題を発見し、主体的に課題を解決できるような思考力・判断力・表現力を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	01 健康の考え方と成り立ち、03 生活習慣病の予防と回復、04 がんの原因と予防、05 がんの治療と回復	健康を支える要因や生活習慣病・がんの原因、種類、予防について理解する。また、がんの治療法や緩和ケアなどの対策を学ぶ。		5月11日	
2	09 喫煙と健康、10 飲酒と健康、11 薬物乱用と健康、15 現代の感染症、16 感染症の予防、17 性感染症・エイズとその予防	喫煙・飲酒・薬物乱用が心身や社会に及ぼす影響について理解する。また、感染症や性感染症・エイズの特徴と予防対策を学ぶ。		6月5日	
3	03 交通における安全、04 応急手当の意義とその基本、05 日常的な応急手当、06 心肺蘇生法	交通事故を防ぐための取り組みや事故時の責任、応急手当の意義と方法について理解する。		7月5日	
4	—	—		—	
5	—	—		—	
6	—	—		—	
7	—	—		—	
8	—	—		—	
9	—	—		—	
10	—	—		—	
11	—	—		—	
12	—	—		—	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	現代社会と健康，安全な社会生活 健康の考え方を学ぶ。	9	
2		10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日に規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
保健Ⅰは、必修科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
保健体育	保健Ⅱ	1	通年	3	1
教科書		副教材		メディア視聴	
大修館書店「現代高等保健体育」		—		—	
指導目標					
1 心身ともに健康で安全な生活を送り、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を養うことができる。					
2 運動や健康に関する自他や社会の課題を発見し、主体的に課題を解決できるような思考力・判断力・表現力を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	01 ライフステージと健康、02 思春期と健康、03 性意識と性行動の選択、04 妊娠・出産と健康、05 避妊法と人工妊娠中絶	大気・水質・土壌の汚染が健康や地球環境に与える影響について理解する。		5月11日	
2	06 結婚生活と健康、07 中高年期と健康、08 働くことと健康、09 労働災害と健康、10 健康的な職業生活	結婚生活や加齢、働くことと心身の健康との関わりについて理解する。また、高齢社会への対応や労働災害の予防について学ぶ。		6月5日	
3	01 大気汚染と健康、02 水質汚濁、土壌汚染と健康、03 環境と健康にかかわる対策、04 ごみの処理と上下水道の整備	大気・水質・土壌の汚染が健康や地球環境に及ぼす影響について理解する。また、環境汚染による健康被害の予防やについて学ぶ。		7月5日	
4	—	—		—	
5	—	—		—	
6	—	—		—	
7	—	—		—	
8	—	—		—	
9	—	—		—	
10	—	—		—	
11	—	—		—	
12	—	—		—	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	生涯を通じる健康 健康が保持増進する仕組みを学ぶ。	9	
2		10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日に規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
保健Ⅱは、必修履修科目である。			

令和 8 年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	通年	9	12
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅠ Revised」		—		—	
指導目標					
必要な情報を読み取り、書き手や話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! Lesson 1 Breakfast around the World	be動詞・一般動詞・過去形を用いて、自分の好きな食べ物や食に関する経験を英語で述べる力を養う。		5月11日	
2	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas Lesson 3 Life with Spade	進行形〈be動詞＋動詞の-ing形〉や助動詞can・willを用いて、好きな動物や目的地への行き方、できることを英語で述べる力を養う。		5月11日	
3	Lesson 4 A Miracle Mirror	to不定詞〈to＋動詞の原形〉を用いて、自分が行ってみたい場所やそこでしてみたいことを英語で述べる力を養う。		6月5日	
4	Lesson 5 A Dream Engine	動名詞〈動詞の-ing形〉を用いて、自分の将来の夢や挑戦したいことについて英語で述べる力を養う。		6月5日	
5	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	受け身〈be動詞＋過去分詞〉を用いて、好きな絵やその特徴について英語で述べる力を養う。		7月5日	
6	Lesson 7 A Diary of Hope	比較級・最上級・〈as＋原級＋as〉を用いて、関心のある人物について英語で説明する力を養う。		7月5日	
7	Lesson 8 A Door to a New Life	現在完了形〈have [has] ＋過去分詞〉を用いて、人の生活を豊かにするロボットについて英語で提案する力を養う。		9月14日	
8	Lesson 9 Ghosts in the Oceans	名詞を後ろから説明する分詞を用いて、地域の環境問題に対する取り組みを英語で伝える力を養う。		9月14日	
9	Lesson 10 Pigs from across the Sea	関係代名詞who・whichを用いて、海外の文化や社会への理解を深める活動について英語で表現する力を養う。		10月19日	
10	—	—		—	
11	—	—		—	
12	—	—		—	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	Pre-Lesson 1 : My Name Is Ito Neko be動詞の肯定文、否定文、疑問文	9	Lesson 7 : A Diary of Hope アンネ・フランクが生きた時代（比較表現）
2	Pre-Lesson 2 : I Like Junk Food! 一般動詞の肯定文、否定文、疑問文	10	Lesson 8 : A Door to a New Life ロボットの可能性（現在完了）
3	Lesson 1 : Breakfast around the World 世界の朝食について（一般動詞の過去形）	11	Lesson 9 : Ghosts in the Oceans ゴーストギアの海の生物への影響と解決策（分詞）
4	Lesson 2 : Australia's Cute Quokkas オーストラリアの野生動物（進行形）	12	Lesson 10 : Pigs from across the Sea 第二次世界大戦後の沖縄とハワイの絆（関係代名詞）
5	Lesson 3 : Life with Spade 人間と動物の絆（助動詞can、will）	13	
6	Lesson 4 : A Miracle Mirror ボリビアのウユニ淵源（to不定詞）	14	
7	Lesson 5 : A Dream Engine ある工業高校のユニークな取り組み（動名詞）	15	
8	Lesson 6 : A Funny Picture from the Edo Period 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳（受け身）	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題		実施日
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する		各自確認
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
英語コミュニケーションⅠは、必修科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	通年	12	16
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「All Aboard! English Communication Ⅱ」		—		—	
指導目標					
1 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。					
2 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	Lesson 1：A Colorful Island ブラーノ島	関係代名詞whatを用いて、子供のころになりたかったものやその理由について英語で述べる力を養う。		5月11日	
2	Lesson 2：With the Beatles サムのリクエスト	比較表現more・the mostを用いて、世代を超えて人気のある人物の特徴や魅力を英語で述べる力を養う。		5月11日	
3	Lesson 3：Wild Men ワイルドマンの世界	itの用法を用いて、身近な行事の内容や特徴、行われる時期などを英語で紹介する力を養う。		6月5日	
4	Lesson 4：Little Hero ハチドリのしずく	間接疑問文を用いて、自分の好きな物語の内容や魅力について英語で紹介する力を養う。		6月5日	
5	Lesson 5：Special Makeup in Kabuki 歌舞伎メイクの物語	to不定詞を含む表現を用いて、歌舞伎や隈取などの日本の伝統文化について英語で説明する力を養う。		7月5日	
6	Reading 1：Mujina	江戸時代を舞台にした怪談を読み、場面の情景や物語の展開、登場人物の心情を読み取る力を身に付ける。		7月5日	
7	Lesson 6：Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ	動詞の目的語になるif節を用いて、地元で有名な場所やものについて英語で説明する力を養う。		9月14日	
8	Lesson 7：Over the Wall アートで世界をつなぐ	関係副詞where・whenを用いて、世界の人々と交流する場所や機会、方法について英語で述べる力を養う。		9月14日	
9	Lesson 8：Inspiration from Nature 自然のデザインに学ぶ	知覚動詞を用いて、自然界のデザインをヒントにした製品について英語で説明し、発表する力を養う。		9月14日	
10	Lesson 9：The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実	使役動詞を用いて、児童労働などの社会的な問題に対する自分の意見を英語で述べる力を養う。		9月14日	
11	Lesson 10：Fighting Angel ナイチンゲール	分詞構文を用いて、人を助ける職業の役割や特徴について英語で説明する力を養う。		10月19日	
12	Reading 2：Bear's Pie	家を出た息子を待つ夫婦の物語について、登場人物の状況や心情を捉えながら、朗読劇の結末を創造する力を身に付ける。		11月14日	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	Lesson 1： A Colorful Island ブラーノ島 イタリアのブラーノ島の特色（関係代名詞what）	9	Lesson 7： Over the Wall 世界中で壁画を描く活動③（関係副詞where,when）
2	Lesson 2： With the Beatles 世代を超えて人気のあるバンド（比較表現）	10	Lesson 8： Inspiration from Nature 生物模倣について①②
3	Lesson 3： Wild Men ヨーロッパの「ワイルドマン」（itを用いた文）	11	Lesson 8： Inspiration from Nature 生物模倣について③（知覚動詞）
4	Lesson 4： Little Hero 世界最小の鳥、ハチドリ物語（関係疑問文）	12	Lesson 9： The Bitter Truth behind Chocolate チョコレートをめぐる現実①②
5	Lesson 5： Special Makeup in Kabuki 日本の伝統文化である歌舞伎と隈取（to不定詞の文）	13	Lesson 9： The Bitter Truth behind Chocolate チョコレートをめぐる現実③④（使役動詞）
6	Reading 1： Mujina 江戸時代を舞台にした怪談	14	Lesson 10： Fighting Angel ナイチンゲールの生涯①②
7	Lesson 6： Seeds for Future Generations 伝統野菜についてのグループ発表（目的語のif節）	15	Lesson 10： Fighting Angel ナイチンゲールの生涯③④（分詞構文）
8	Lesson 7： Over the Wall 世界中で壁画を描く活動①②	16	Reading 2： Bear's Pie 朗読劇の結末を考える
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
英語コミュニケーションⅡは、選択科目である。英語コミュニケーションⅠを履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	通年	12	16
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「All Aboard! English Communication Ⅲ」		—		—	
指導目標					
必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	Lesson 1 Gifts to Barcelona	to不定詞や動名詞を用いて、建築物の特徴や魅力、訪れる目的について英語で紹介する力を養う。		5月11日	
2	Lesson 2 Akkamui	現在完了形を用いて、生き物の特徴や生息環境、これまでに分かったことについて英語で説明する力を養う。		5月11日	
3	Lesson 3 Your True Colors	使役動詞を用いて、好みの服装やファッションが人に与える影響について英語でインタビューする力を養う。		6月5日	
4	Lesson 4 Our Future Food?	受動態を用いて、食糧問題や昆虫食に対する自分の立場と根拠を英語で述べ、ミニディベートを行う力を養う。		6月5日	
5	Lesson 5 Madagascar	関係代名詞を用いて、地域の自然の特徴や魅力、保全の必要性について英語でプレゼンテーションする力を養う。		7月5日	
6	Reading 1 The Fun They Had	未来の機械化された学校と生徒の日常生活を描いた物語を読み、各場面の状況や物語の展開、登場人物の心情を読み取る力を身に付ける。		7月5日	
7	Lesson 6 The Mystery of the Terracotta Warriors	関係代名詞who・whichの非制限用法を用いて、訪れてみたい史跡について英語でまとまりのある文章を書く力を養う。		9月14日	
8	Lesson 7 Green Challenges	比較表現を用いて、国や地域における再生可能エネルギーの導入状況や特徴を比較し、英語でプレゼンテーションする力を養う。		9月14日	
9	Lesson 8 Witnesses of War	名詞を後ろから説明する分詞を用いて、自分が経験したことや考えたことを英語でまとまりのある文章として書く力を養う。		9月14日	
10	Lesson 9 The Wonders of Lightning	仮定法過去を用いて、電気の有効活用について自分の立場や根拠を英語で述べ、ミニディベートを行う力を養う。		9月14日	
11	Lesson 10 Katherine's Long Journey	関係代名詞whoseを用いて、社会に影響を与えた人物の生涯や功績について英語でエッセイを書く力を養う。		10月19日	
12	Reading 2 Table for Two	ディケンズの本に導かれた若い男女の巡り合いの物語を読み、各場面の状況や物語の展開、登場人物の心情を読み取る力を身に付ける。		11月14日	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	Lesson 1 : Gifts to Barcelona ガウディの建築物の概念や特徴（不定詞・動名詞）	9	Lesson 7 : Green Challenges 地球温暖化と再生可能エネルギー③（比較表現）
2	Lesson 2 : Akkamui エゾモモンガとアイヌの人々（現在完了）	10	Lesson 8 : Witnesses of War 被爆した広島路面電車①②
3	Lesson 3 : Your True Colors 衣服の働きと自己表現（使役動詞）	11	Lesson 8 : Witnesses of War 被爆した広島路面電車③（分詞の後置修飾）
4	Lesson 4 : Our Future Food? コオロギを使用する昆虫食（受け身）	12	Lesson 9 : The Wonders of Lightning 雷の発生のしくみ①②
5	Lesson 5 : Madagascar マダガスカルと人々の生活（関係代名詞）	13	Lesson 9 : The Wonders of Lightning 雷の発生のしくみ③④（仮定法過去）
6	Reading 1 : The Fun They Had 未来の機械化された学校と生徒の日常生活	14	Lesson 10 : Katherine's Long Journey 米国の宇宙開発に貢献した数学者①②
7	Lesson 6 : The Mystery of the Terracotta Warriors 秦の始皇帝と兵馬俑（関係代名詞の非制限用法）	15	Lesson 10 : Katherine's Long Journey 米国の宇宙開発に貢献した数学者③④（whose）
8	Lesson 7 : Green Challenges 地球温暖化と再生可能エネルギー①②	16	Reading 2 : Table for Two 若い男女の2度の巡り会いの物語
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題		実施日
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する		各自確認
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・添削指導（レポート） 30 % ・面接指導（スクーリング） 30 % ・単位認定試験（テスト） 30 % ・平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
英語コミュニケーションⅢは、選択科目である。英語コミュニケーションⅡを履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
外国語	論理表現Ⅰ	2	通年	6	8
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and ExpressionⅠ」		—		—	
指導目標					
基本的な語句や文を用いて、 ・ 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどのやり取りを通して伝え合 うことができる。 ・ 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを話して伝えることができる。 ・ 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを書いて伝えることができる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	Unit 1 Lesson 1 初めての食事 Unit 1 Lesson 2 道に迷う Unit 1 Lesson 3 人物紹介	Could you ...?や命令文、現在完了形と過去形、 to不定詞と動名詞を用いて、状況に応じて英語 で分かりやすく伝える力を養う。	5月11日		
2	Unit 1 Lesson 4 体調が悪い Unit 1 Lesson 5 買い物 Unit 1 Lesson 6 行ってみたい場所	should・had better、各時制、後置修飾、to不 定詞と動名詞を用いて、状況や目的に応じて英 語で分かりやすく表現する力を養う。	6月5日		
3	Unit 1 Lesson 7 イベントに誘われる Unit 1 Lesson 8 スクールカウンセラーに相談 Unit 1 Lesson 9 お気に入りの紹介	how・whyを用いた文、前置修飾・後置修飾を 用いて、相手や目的に応じて自分の考えや情報 を分かりやすく英語で表現する力を養う。	7月5日		
4	Unit 1 Lesson 10 待ち合わせに遅刻 Unit 1 Lesson 11 家庭でのディスカッション Unit 1 Lesson 12 英字新聞に投稿	使役動詞、to不定詞と動名詞、仮定法を用い て、相手の気持ちに配慮しながら自分の考えを 論理的に英語で表現する力を養う。	9月14日		
5	Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート① Unit 2 Lesson 2 クラスでディベート② Unit 2 Lesson 3 経験談のスピーチ Unit 2 Lesson 4 遊びやスポーツを紹介 Unit 2 Lesson 5 日本をPR	to不定詞と動名詞、後置修飾、受動態、現在完 了形と過去形を用いて、聞き手の知識に配慮し 論理的かつ具体的に英語で表現する力を養う。	9月14日		
6	Unit 2 Lesson 6 物語の両面を伝える Unit 2 Lesson 7 読み手を納得させる Unit 2 Lesson 8 読み手を説得する	and・but・so、名詞や無生物主語、分詞構文を 用いて、文化や習慣を説明し、条件を交えなが ら、相手を説得する文章を書く力を養う。	10月19日		
7	—	—	—		
8	—	—	—		
9	—	—	—		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	Unit 1 Lesson 1～3 勧める・断る表現、提案する・依頼する表現、身近な人を紹介する表現等	9	
2	Unit 1 Lesson 4～6 体調を伝える表現、描写する・相槌を打つ表現、希望や理由を述べる表現等	10	
3	Unit 1 Lesson 7～9 誘う・断る表現、状況説明・助言する表現、自分のお気に入りを紹介する表現等	11	
4	Unit 1 Lesson 10～12 謝る・許す表現、共感や残念な気持ちを述べる表現、要望や主張を述べる表現等	12	
5	Unit 2 Lesson 1・2 理由を述べる・例を挙げる表現、相手の意見に反駁する表現等	13	
6	Unit 2 Lesson 3・4 出来事を描写する・経験から助言する表現、ルールや手順を説明する表現等	14	
7	Unit 2 Lesson 5・6 文化や習慣を説明する表現、利点や欠点を述べる表現等	15	
8	Unit 2 Lesson 7・8 自分の主張の理由・根拠を説明する表現、人の発言を引用する表現等	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・添削指導（レポート） 30％ ・面接指導（スクーリング） 30％ ・単位認定試験（テスト） 30％ ・平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
論理表現Ⅰは、選択科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
外国語	論理表現Ⅱ	2	通年	6	8
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ」		—		—	
指導目標					
多様な語句や文を用いて					
・ 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。					
・ 論理の構成や展開を工夫し、情報や考え、気持ちなどを、詳しく話して伝えることができる。					
・ 論理の構成や展開を工夫し、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	Lesson 1 友達に報告する Lesson 2 日本での初登校 Lesson 3 経験についてのスピーチ Lesson 4 ファンレター Lesson 5 イベントに誘う	現在進行形・完了進行形、副詞、受動態を用いて、経験や気持ち、相手への思いを状況に応じて英語で分かりやすく表現する力を養う。	5月11日		
2	Lesson 6 図書館で資料探し Lesson 7 翻訳についてのスピーチ Lesson 8 通信販売で返品依頼 Lesson 9 タグゾーに乗る	分詞、否定表現、現在分詞・動名詞、比較表現を用いて、困っている状況や要望を相手に配慮しながら英語で分かりやすく伝える力を養う。	6月5日		
3	Lesson 10 友達とディスカッション Lesson 11 比較結果のプレゼンテーション Lesson 12 就きたい職業	itを用いた表現、仮定法、分詞構文、関係副詞を用いて、状況や目的に応じて自分の考えを論理的かつ具体的に英語で表現する力を養う。	7月5日		
4	Lesson 1 クラスでディベート① Lesson 2 クラスでディベート② Lesson 3 クラスでディベート③	名詞構文、不定詞、関係代名詞の非制限用法を用いて、相手の意見を踏まえながら論理的に反論し、英語で説得する力を養う。	9月14日		
5	Lesson 4 調査結果のプレゼンテーション Lesson 5 社会問題についてのスピーチ	不可算名詞や先行詞を含む関係代名詞whatを用いて、根拠を示しながら英語で分かりやすくプレゼンテーションやスピーチを行う力を養う。	9月14日		
6	Lesson 6 仮定して推論する Lesson 7 比較して説明する Lesson 8 読み手を説得する	ifのない仮定法、時制の一致の例外、倒置を用いて、自分の考えを根拠とともに英語でまとまりのある文章として表現する力を養う。	10月19日		
7	—	—	—		
8	—	—	—		
9	—	—	—		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	Unit 1 Lesson 1～3 心配する・感謝する表現、驚く・繰り返す表現、注意を引く・同意を求める表現等	9	
2	Unit 1 Lesson 4～6 望む・褒める表現、誘う・説明する表現、聞き直す・依頼する表現等	10	
3	Unit 1 Lesson 7～9 要約する・言い換える表現、困ったことを伝える表現、依頼・提案する表現等	11	
4	Unit 1 Lesson 10～12 仮定・反対する表現、報告・比較する表現、説明する、理由を述べる表現等	12	
5	Unit 2 Lesson 1・2 賛成・反対する表現、主張・推論する表現等	13	
6	Unit 2 Lesson 3・4 推論・説得する表現、報告する・望むときの表現等	14	
7	Unit 2 Lesson 5・6 説明・主張・提案する表現、仮定・推論する表現等	15	
8	Unit 2 Lesson 7・8 比較する・類似点と相違点を説明する表現、主張・説得する表現等	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日の中から各自、希望の日程を選択し（申込みし）、規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・添削指導（レポート） 30％ ・面接指導（スクーリング） 30％ ・単位認定試験（テスト） 30％ ・平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
論理表現Ⅱは、選択科目である。論理表現Ⅰを履修・修得した次の学年以降で履修可能である			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
家庭	家庭基礎	2	通年	6	8
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」		—		—	
指導目標					
人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	生活課題に対して適切に意思決定し、誰もがよりよい家庭生活と地域生活を営める社会の実現に向けて行動する力を養う。	5月11日		
2	第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる	子どもや高齢者への適切な関わり方と支援について考え、誰もが健やかに安心して暮らせる社会の実現に向けて行動する力を養う。	6月5日		
3	第5章 共に生き，共に支える 第6章 食生活をつくる	福祉制度や支援体制、地域における支え合いの仕組みを理解し、多様な人々が安心して共に暮らせる社会について考える力を身に付ける。	7月5日		
4	第7章 衣生活をつくる	洗濯・保管方法や資源消費、ユニバーサルデザインの視点から衣生活を見直し、環境に配慮した持続可能な衣生活を実践する力を養う。	9月14日		
5	第8章 住生活をつくる	住居の機能やライフステージごとの住要求、防災・日照・換気などの環境性能について理解する。	9月14日		
6	第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する	生活設計や持続可能な消費について考え、生活資源を活用しながら、自立した消費者としてよりよい社会の実現に向けて行動する力を養う。	10月19日		
7	—	—	—		
8	—	—	—		
9	—	—	—		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	家庭生活と地域生活を営める社会の実現について学ぶ。	9	
2	子どもや高齢者への適切な関わり方と支援について学ぶ。	10	
3	衣生活を見直し、住居の機能や住要求、環境性能について理解する。	11	
4	生活設計や持続可能な消費について考える。	12	
5	縫製の仕方について実践し長期間被服を着用できる技術を身に付ける。	13	
6	縫製の仕方について実践し長期間被服を着用できる技術を身に付ける。	14	
7	自立した消費者としてよりよい社会の実現に向けて行動する力を養う。	15	
8	ライフステージ課題やリスク管理について学び、生活設計ができるようになる。	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日に規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
家庭基礎は、必修履修科目である。			

令和 8 年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
情報	情報Ⅰ	2	通年	6	8
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「新編情報Ⅰ」		－		－	
指導目標					
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	1章 情報で問題を解決する	情報やメディアの特性、問題発見・解決の流れと情報技術・発想法の活用、個人情報、知的財産権などの制度について理解する。		5月11日	
2	2章 情報を伝える	メディアとコミュニケーションの変遷・特性、文字・音・画像・動画のデジタル表現、情報量・品質・圧縮について理解する。		6月5日	
3	3章 コンピュータを活用する	コンピュータの基本構成、演算や回路、プログラムの動作、アルゴリズムと制御構造、リスト・配列・関数について理解する。		7月5日	
4	4章 データを活用する	LANとWAN、TCP/IPなどのプロトコル、ネットワーク機器、サーバ、IPアドレス、WWWや電子メールの役割について理解する。		9月14日	
5	5章 活動して提案する	問題解決に活用できる発想法、色やデータ量、Webページ・シミュレーション・パケット通信の仕組みについて理解する。		9月14日	
6	巻末 OFFICEソフトの利用方法やWEBに関する知識を学ぶ	文書処理ソフトウェアの書式設定や配置変更、図・表・画像の挿入などの基本的な操作について理解する力を身に付ける。		10月19日	
7	－	－		－	
8	－	－		－	
9	－	－		－	
10	－	－		－	
11	－	－		－	
12	－	－		－	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	情報やメディアの特性、音、画像について理解する。	9	
2	コンピュータの基本構成、演算や回路について理解する。	10	
3	ネットワーク機器や電子メールの役割について理解する。	11	
4	文書処理ソフトウェア基本的な操作について理解する。	12	
5	コンピュータ実践を通して、タイピングスキルの向上を目指す。	13	
6	コンピュータ実践を通して、アルゴリズムと制御構造について理解する。	14	
7	コンピュータ実践を通して、プログラムの動作について理解する。	15	
8	コンピュータ実践を通して、プログラムの動作について理解する。	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日に規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30 % ・ 面接指導（スクーリング） 30 % ・ 単位認定試験（テスト） 30 % ・ 平常点 10 % 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
情報Ⅰは、必修科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
芸術	書道Ⅰ	2	通年	6	8
教科書		副教材		メディア視聴	
東京書籍「書道Ⅰ」		—		—	
指導目標					
1. 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 2. 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。					
評価方法					
添削指導、面接指導、単位認定試験（年1回）での総合評価					
添削指導					
回	学習内容	到達目標	提出目標		
1	・書写で学んできたこと 書道で学ぶこと ・用具 / 用材 ・姿勢 / 執筆法	中学校で学んだ楷書とそれに調和する仮名を確認し、高校書道の学習内容、臨書の意味や方法、用具・用材の特徴について理解する。	5月11日		
2	・漢字の成立と変遷 ・拓本 ・楷書の特徴 表現を比べよう	漢字の成立と変遷、拓本の意味や採り方、関連する書道用語について理解する力を身に付ける。	6月5日		
3	・行書の特徴 ・「蘭亭序(神龍半印本)」 ・「争坐位文稿」など	行書の特徴や古典の概要、用筆・運筆・字形の取り方を理解し、古典を鑑賞して時代背景や表現の美を捉える力を身に付ける。	7月5日		
4	・草書の特徴「真草千字文」 ・隸書の特徴「曹全碑」 ・篆書の特徴「泰山刻石」	草書・隸書・篆書の成立過程と特徴を理解し、作品を鑑賞して、それぞれの書体がもつ表現の美を捉える力を身に付ける。	9月14日		
5	・仮名の成立 ・仮名を書く準備 平仮名の単体 変体仮名 連綿	仮名の成立と変遷、用具・用材の特徴、基本的な線、平仮名の単体・変体仮名・連綿の特徴について理解する。	9月14日		
6	・表現を比べよう ・創作 一言葉と書を調和させよう— ・鑑賞 一書の美や風趣を味わおう—	古典の特徴、用具・用材、書き方、文字の大きさや配列などを工夫することで多様な表現ができることを理解する。	10月19日		
7	—	—	—		
8	—	—	—		
9	—	—	—		
10	—	—	—		
11	—	—	—		
12	—	—	—		

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	用具の扱いと基本の姿勢、筆の持ち方（執筆法）を身につける	9	
2	楷書の基本点画（起筆・送筆・収筆）と正しい筆使いを身につける	10	
3	横画・縦画・折れ用の筆法を練習する	11	
4	左払い・右払い・点の筆法を練習する	12	
5	楷書の字形と点画の組み立てを学ぶ	13	
6	文字の中心と大きさを意識して臨書する	14	
7	自分の名前を楷書で練習し、楷書作品を制作する（表現する）	15	
8	学習を生かして作品を仕上げ、最後に自分の名前を作品に書写する	16	
実施日			
学校が指定する面接指導日に規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験約2週間前に試験範囲を公開する	各自確認	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・ 添削指導（レポート） 30％ ・ 面接指導（スクーリング） 30％ ・ 単位認定試験（テスト） 30％ ・ 平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
書道Ⅰは、必修履修科目である。			

令和8年度通信教育実施計画 つくば開成国際高等学校

教科	科目名	単位数	期間	添削指導	面接指導
総探	総合的な探究の時間	1～3	通年	2～6	2～6
教科書		副教材		メディア視聴	
—		—		—	
指導目標					
・課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現している。 ・探究活動に主体的・協働的に取り組もうとする態度を養う。					
評価方法					
—					
添削指導					
回	学習内容	到達目標		提出目標	
1	総合的な探究の時間とは何か 探究のプロセス入門（SDGsを題材に）	探究の定義と、問い・情報収集・整理・分析・まとめ・表現・新たな課題へとつながる循環的な学習過程について理解する力を身に付ける。		5月11日	
2	探究の土台づくり（自己理解・自己分析）	性格・価値観・強みなどを可視化して自己理解を深め、自分の関心領域や問題意識が生まれる背景を捉える力を身に付ける。		6月5日	
3	テーマ設定と問いづくり （ブレインストーミング）	国際理解・環境・政治経済・福祉健康・歴史文化・情報技術などから、自分の関心や問題意識に基づいて探究テーマを選ぶ。		7月5日	
4	探究活動①（調査・整理分析・考察）	問いに対して仮説を設定し、必要な情報や調査方法を計画し、客観的なデータと主観的な意見を区別しながら整理・分析する。		9月14日	
5	探究活動②（再探究：問いの更新と深掘り）	前回の探究で見いだした課題を踏まえ、問いやテーマを見直し、調査・整理分析・考察のサイクルを繰り返して探究を深める。		9月14日	
6	探究のまとめ （振り返り・プレゼンテーション）	探究プロセス全体を振り返り、テーマ・問い・根拠・結論・考え方の変化を構造化して整理する力を身に付ける。		10月19日	
7	—	—		—	
8	—	—		—	
9	—	—		—	
10	—	—		—	
11	—	—		—	
12	—	—		—	

面接指導			
回	学習内容	回	学習内容
1	レポート1 探究活動の定義と目的の確認・SDGsとの関連づけ	9	
2	レポート2 SDGsと関連した問いを立て、探究活動を行い、まとめ・表現する	10	
3	レポート3 興味関心のある職業と関連した問いを立て、探究活動を行い、まとめ・表現する	11	
4	レポート4 レポート3でまとめた内容を元に、新聞形式にまとめる	12	
5	レポート5 これまでの活動から、新たな問いを立て、探究活動を行う	13	
6	レポート6 これまでの探究活動を振り返り、まとめ・表現する	14	
7		15	
8		16	
実施日			
学校が指定する面接指導日に規定時数出席すること			
単位認定試験			
回	試験範囲または課題	実施日	
1	単位認定試験は実施しない。	—	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
・添削指導（レポート） 30％ ・面接指導（スクーリング） 30％ ・単位認定試験（テスト） 30％ ・平常点 10％ 以上を総合的に勘案して評価し、総合成績は35点以上を合格とする。 80点以上が5、65点以上を4、50点以上を3、35点以上を2、35点未満を1とする ただし、学校が指定する学習期限までに添削指導、面接指導、単位認定試験のいずれかでも基準を満たしていない場合、単位未修得（評定1）とする			
その他、履修上の注意点			
総合的な探究の時間は、必修科目である。			